

1.【福岡県】福岡県遠賀郡芦屋町 県道直方芦屋線西祇園橋橋梁上部工工事

〈工事概要〉

工期	R6.9.25～R8.4.30
試行期間	R6.9.25～R8.4.30
工事内容（主 工種）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事長 L=120.2m ・ 橋梁上部工 L=120.2m2 ・ 有効幅員 W=15.0m
発注者	福岡県
受注者	(株) 富士ピー・エス

〈内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ iPad 「配信」 ・ 現場クラウドOne	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地覆工の出来形確認 ・ 縁石ブロックの材料確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の機器を用いて切り替えながら配信することで、同時に複数個所の確認を行い、立会時間を短縮した。 ・ 大型ディスプレイを用いることで細かい箇所を確認しやすくした。



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】



【立会状況（現場側）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・ 準備が整えばすぐに開始でき、双方の都合に合わせて時間調整も可能なため、効率的な現場確認ができる。

〈課題〉

- ・ 場所によっては、電波が弱くなり、通信が途切れたりする。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・ 現場までの移動時間が不要となり、業務の効率化が図れる。

〈課題〉

- ・ 小さい文字や細かい箇所の確認に、多少時間を要したり、機器によっては、確認困難なことがある。
- ・ 監督側の電波状況（Wi-fi等）が悪い場合もあったため、良い電波状況を整える必要がある。



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

2.【佐賀県】佐賀県佐賀市 三瀬栗並線（下合瀬工区）道路橋りょう補助工事（橋梁上部工）

〈工事概要〉

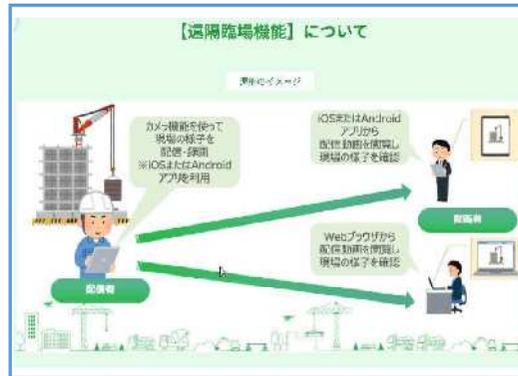
工期	R7.1.23～R7.9.19
期間	R7.7.24～R7.9.19
工事内容 （主工種）	・橋りょう上部工 N=1橋
発注者	佐賀県佐賀土木事務所
受注者	松尾建設株式会社佐賀支店

〈内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット 「配信」 ・現場クラウドone	・地覆型枠検測立会 ・地覆出来形検測立会 ・足場解体前支保部確認 ・現場状況確認	・スマートフォンやタブレットに『現場クラウドone』のアプリをダウンロードして利用するため、特殊な専用機材は必要なかった。



【立会状況（地覆型枠検測）】



【使用システム機能概要】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

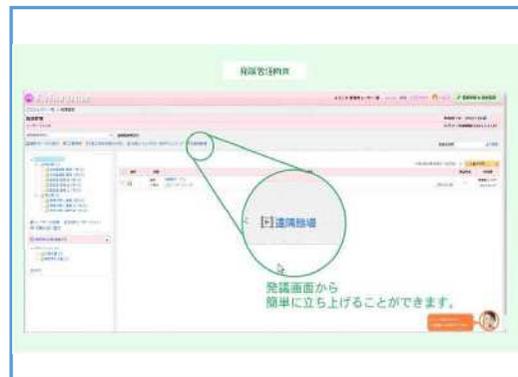
- ・監督員の現場への移動時間が不要となったため、立会スケジュールの調整が比較的容易であった。
- ・現場状況もリアルタイムで確認いただくことで、状況の伝達が容易になった。

〈課題〉

- ・山間部など場所によって通信に不都合が生じることがある。
- ・夏場の外での使用に際して、使用機器が熱を持ったため、冷却するまで一時的に使用できない時があった。



【立会状況（足場解体前支保部確認）】



【発注者側（使用ソフト状況）】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・工事現場までの移動時間(往復約90分)が不要なため、その時間を別の作業時間に充てることができ、業務を効率化できた。
- ・指示に迷う際には、その場で上司への相談も可能であり、現地の作業時間の確保に繋がった。
- ・現地状況確認もリアルタイムの映像で確認できたことから、電話での確認よりも確実性が図られた。

〈課題〉

- ・確認の際に、どうしても、声による指示のみであるため、撮影箇所を先方に細かく指示する必要があるがあった。
- ・通信が滞ることがあった。
- ・音声不明瞭でないときがあり、静かな別室を用意することがあった。

3.【福岡県】福岡県久留米市 県道久留米柳川線(久留米市2工区)西鉄跨線橋橋梁下部工(P1)工事

〈工事概要〉

工期	R7.6.12~R8.3.13
試行期間	R7.6.12~R8.1.28
工事内容(主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁下部工 N=1基 (V=250m³) ・場所打杭工 N=4本 (杭径1500mm 杭長24m)
発注者	福岡県
受注者	(株)佐田土木

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・Zoom	・橋脚躯体工 鉄筋組立完了確認	・鉄筋本数確認のため番号札及びカラーマグネットを設置 ・鉄筋径測定にデジタルノギスを使用



【立会状況(現場側)】



【デジタルノギス】

〈現場の声〉

●施工者(受注者)

〈効果〉

- ・監督員の移動時間が不要となるため待ち時間が解消され、施工の段取りを組みやすくなった。
- ・現場が順調に進んだ時に、立会時間を早めてもらうことができた。

〈課題〉

- ・炎天下で機器が高温となり、配信ができないエラーが頻発した。

●監督員(発注者)

〈効果〉

- ・現場までの移動時間が削減され、業務の効率化につながった。
- ・現場の進捗が遅れた時に、立会の準備ができるまで、所内で別の業務を進めることができた。

〈課題〉

- ・炎天下で機器が高温となり、配信ができないエラーが頻発した。



【立会状況(監督側)】



【カメラ(スマートフォン)】

4.【福岡県】福岡県嘉麻市 国道322号道路舗装工事（2工区）

〈工事概要〉

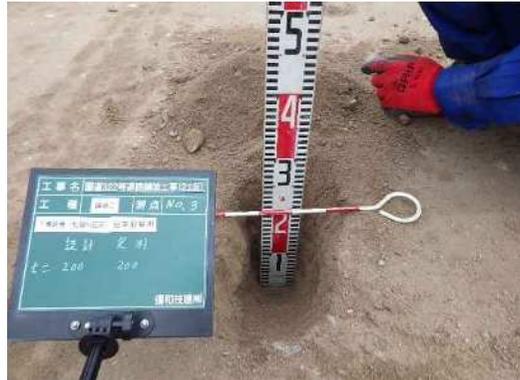
工期	R7.9.10~R8.1.30
試行期間	R7.11.1~R7.12.26
工事内容（主工種）	<ul style="list-style-type: none"> ・工事長 L=150m ・アスファルト舗装工 A=1110㎡ ・路盤工 A=1110㎡
発注者	福岡県
受注者	優和技建（株）

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ iPhone 「配信」 ・ zoom	・ 路盤工の出来形確認及びプルフロールリング実施状況確認	・ 監督者側での確認を、2画面表示で行うことで効率化した。



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】



【工夫がわかる写真（2画面）（監督側）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・待ち時間がなくなるため、予定どおりに立会を開始できる。

〈課題〉

- ・電波の通信状態が悪い時がある。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場までの移動時間が削減され、業務の効率化につながった。

〈課題〉

- ・個人に配布されているPCで遠隔臨場ができないこと。

5.【福岡県】福岡県嘉麻市 国道211号貞月工区歩道設置工事

〈工事概要〉

工期	R7.2.8~R7.9.30
期間	R7.2.8~R7.9.30
工事内容（主工種）	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝工 L=197m ・縁石工 L=349m ・路盤工 A=744㎡
発注者	福岡県
受注者	石山技建 石山哲成

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ iPhone 「配信」 ・ Zoom	・ 路盤工の出来形確認	・ 現場の音声聞き取りやすいようにヘッドホンを使用した。 ・ 管理表を事前に送信し、測定箇所を明確にした。



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】



【工夫がわかる写真（ヘッドホン）（監督側）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・ 待ち時間がなくなるため、予定どおりの工程で作業を進めることができた。

〈課題〉

- ・ 映像や音声の乱れが起きない通信環境の確保。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・ 遠隔臨場を行うことにより移動時間等の時間効率を図ることができた。

〈課題〉

- ・ 個人に配布されているPCで遠隔臨場ができないこと。

6.【佐賀県】佐賀県伊万里市 新田川河川保全工事（河道掘削工）

〈工事概要〉

工期	R6.10.18~R7.11.28
期間	R7.5.12~R7.11.28
工事内容 (主工種)	・河道掘削工 V=5,952m ³
発注者	佐賀県伊万里土木事務所
受注者	株式会社有田建設

〈内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・Microsoft Teams	・ICT機械の精度確認 ・掘削後の施工履歴の確認 ・掘削完了高の確認	・スマートフォン上のTeamsも使用して配信するため、遠隔臨場の機材、ソフトの導入費用を削減。



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・監督員の移動時間がなく、立会日の調整が容易になる。
- ・スクリーンショットで立会状況を撮影できるため、撮影用の人員を削減できる。

〈課題〉

- ・通信障害等により、音声途切れることがある。

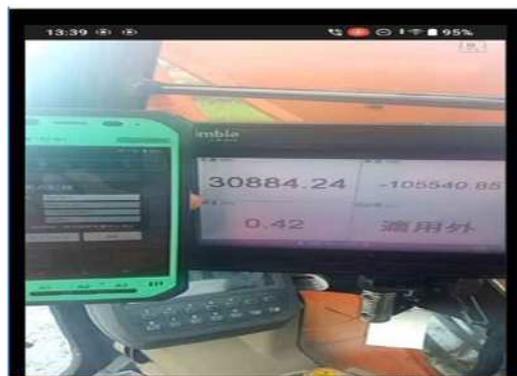
●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場への移動が不要になり、業務効率化を図ることができた。
- ・使用実績のあるTeamsの利用により、円滑に遠隔臨場を行うことができた。

〈課題〉

- ・通信障害等により、音声途切れることがある。



【立会状況（監督側）】

7.【長崎県】長崎県長崎市 上曲川通常砂防工事

〈工事概要〉

工期	R7.1.10～R9.7.28
期間	R7.1.10～R9.7.28
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・本えん堤工 N=1基 (H=10.5m L=41.8m V=1762m³) ・前庭保護工 L=14.2m ・溪流保全工 L=25.8m ・管理用道路工 L=160.0m
発注者	長崎県
受注者	株式会社 田浦組

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・iPad 「配信」 ・マイクロソフトTeams	<ul style="list-style-type: none"> ・重力式擁壁の出来形確認 ・大型ブロック積の出来形確認 ・現場吹付法枠の型枠出来形確認 ・モルタル吹付のラス張確認 ・鉄筋挿入工の引抜き試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者の声が聞き取りやすいようにBluetoothイヤホンを使用した。 ・臨場中でも発注者が見ている画面がディスプレイで確認できる。



【立会状況（現場側）】



【使用機器（iPad）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・遠隔臨場を行ったことで、立会の日程調整が容易になり、現場の工程も立会の日程に影響されずスムーズになった

〈課題〉

- ・真夏の猛暑日等に直射日光下で、ビデオ通話機能を使用するので高出力による内部からの放熱と外部からの熱でiPadがブラックスクリーンになり動作しなくなる場合があった
- ・遠隔臨場中に気象条件等によりネット環境の影響で、多少のタイムラグがあった

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・これまで遠隔臨場を7回実施し、現場までの移動時間が約14時間短縮された（往復約2時間×7回）

〈課題〉

- ・電波状況の影響で撮影箇所を指示する際、タイムラグが若干生じた



【立会状況（監督側）】



【Teamsの活用】

8.【長崎県】長崎県西海市 面高港海岸保全高潮対策工事

〈工事概要〉

工期	R7.9.19~R8.3.27
期間	R7.10.9~R8.2.28
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸(改良) L=17m ・埋土工 V=120m³ ・排水工 N=1式
発注者	長崎県
受注者	(株)西海興業

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット、PC 「配信」 ・Microsoft Teams	・排水工の配筋出来形確認 ・捨石投入・均しの出来形確認	・事前に検査項目と測定箇所を確認を行うことでスムーズに確認ができた。



【立会状況（現場側）】



【現場の使用機器】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・現場の立会い待ちが減少し、円滑に工事を進捗させることができた。
- ・段階確認だけでなく、突発的に現場協議等が必要になった際に迅速な対応が可能となった。

〈課題〉

- ・海岸工事等、僻地では通信状況に左右される。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・移動時間が不要のため、業務調整が容易になった。
- ・執務室にある資料やデータを確認しながら実施できるため、回答の保留が減少し、効率的に業務を進めることができた。

〈課題〉

- ・不慣れた代理人等のために、外部向けの操作マニュアルや接続方法を公開・共有するとより普及が進むと考える。



【立会状況（監督側）】



【画面の分割表示】

9.【鹿児島県】鹿児島県阿久根市 脇本赤瀬川線県単道路整備（改良）工事（根比R6-1工区）

〈工事概要〉

工期	R7.8.14~R8.3.17
期間	R7.8.14~R8.3.17
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・排水工 L=319m ・張りコンクリート工 A=356m² ・擁壁工 A=40m² ・置換工 A=718m² ・路盤工 A=843m²
発注者	鹿児島県
受注者	阿久根建設株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・スマートフォン (LINE)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの4週強度材料確認 ・プルフローリング試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンのラインアプリを活用し、業務の効率化を図った。



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】



【立会状況（監督側）】



【立会状況（現場側）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・立会を遠隔臨場とすることで日程調整が容易になった。

〈課題〉

- ・現場の通信環境に左右される。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・事務所にいながら立会可能であるため、移動時間がなく、大幅に業務の負担が軽減した。

〈課題〉

- ・現場の通信環境に左右される。通信環境が悪い現場の場合、現地立会が必要。

10.【鹿児島県】鹿児島県鹿児島市 県単道路整備（改良）工事（仮屋2 R6-1工区）

〈工事概要〉

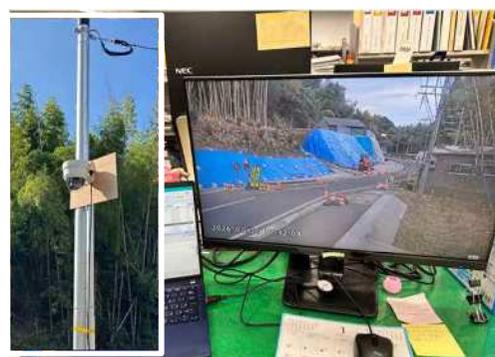
工期	R7.6.1～R8.3.19
期間	R7.6.1～R8.3.19
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良 L=60.0m ・掘削工 V=1,000m³
発注者	鹿児島県
受注者	株式会社 吉丸組

〈内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ASP 「現場クラウドOne」 ・Safieカメラ 「配信」 ・iphone	・法面工（硬度確認）	・ライブカメラを併用した現場管理



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・現場の待ち時間ロスの回避
- ・立会い日程を変更することなく、現場スケジュールで実施
- ・ライブカメラを設置し、現場位置を確認し、遠隔臨場立会・検査を実施

〈課題〉

- ・電波状況が悪く、Wi-Fiを設置するも使用が制限される場合があった。



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・発注機関から現場まで交通渋滞で時間を要するため、監督職員の拘束時間が短縮が可能
- ・ライブカメラを設置したことで日々、工事進捗が確認が可能となり、自然災害（豪雨・地震）時に現場調査が可能。

〈課題〉

- ・現場が山間部で、電波状況に左右され、画面や音声途切れることがあった。

11.【沖縄総合事務局】沖縄県国頭郡本部町 令和7年度 海洋博公園保全工事

〈工事概要〉

工期	R7.4.8~R8.3.31
期間	R7.6.6~R8.3.31
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・園路広場整備工 1式 ・管理施設整備工 1式 ・構造物撤去工 1式 ・除草工 1式
発注者	沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所
受注者	本部造園株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット端末 「配信」 ・電納ASPerLIVE	・除草工の刈高出来形確認	・通信環境が不安定になる場合に備えて、通信キャリア別会社のタブレット端末を2台用意したのに加え、ポケットWi-Fiを準備した。



【立会状況（現場側）】



【タブレット端末2台、ポケットWi-Fi】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・現場臨場で必要としていた確認を遠隔で行う事で日程調整がしやすくなり次工程へスムーズに移る事ができた。

〈課題〉

- ・通信環境が不安定になる場合に備えて、通信キャリア別会社のタブレット端末2台及びポケットWi-Fiを準備したが、それでも通信が途切れる事があった。
- ・夏季、炎天下での遠隔臨場時に撮影機器（タブレット端末）が高温により使用できなくなる事があり、復旧まで時間を要した。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・屋外においては現地の突発的な気象変動による臨場実施可否の判断が直前な場合でも支障なく対応可能。
- ・執務室にて確認ができるため現地への移動時間を他業務に充てる事が可能。
- ・テレワーク時においても支障なく対応可能。
- ・スマートホンでの臨場確認可のため出張先においても対応可能

〈課題〉

- ・現場によっては通信状況に左右され場合によっては音信及び画像が不通になる。
- ・雨天時は水滴や湿気による通信機器への影響（故障）が発生しないか懸念する。



【立会状況（監督側）執務室内PCモニターにて確認】

12.【福岡県】福岡県飯塚市 庄司川河川改修工事4 2工区

〈工事概要〉

工期	R6.12.5~R7.7.31
試行期間	R7.3.1~R7.6.30
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事長 L=40m ・ ブロック積工 A=161㎡ ・ 地盤改良工 A=240㎡
発注者	福岡県
受注者	(株)クボイ

〈内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・ iPhone、iPad 「配信」 ・ 現場クラウドOne	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改良材の材料確認 ・ 改良深の出来形確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔臨場がスムーズにできるようにするため、事前に会社内で予行練習を行った。



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・ 監督員との待ち合わせ時間が省け、予定どおりの工程で作業を進めることができた。

〈課題〉

- ・ 電波の通信状態が悪い時がある。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・ 遠隔臨場を行うことにより移動時間等の時間効率を図ることができた。

〈課題〉

- ・ 個人に配布されているPCで遠隔臨場ができないこと。



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（機器、方法など）】

13.【長崎県】長崎県雲仙市 一般国道251号道路改良工事（47工区）

〈工事概要〉

工期	R7.4.1~R8.2.24
期間	R7.4.1~R8.2.24
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路土工 V=9,740m³ ・カルバート工 L=11m
発注者	長崎県
受注者	星野建設(株)

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット 「配信」 ・Swise	・分割式二連ボックスカルバートの材料確認	・撮影時には遠景→近景と臨場者が分かりやすいよう意識した ・映像だけではなく数値の読み上げ確認を行うことで精度向上を図った ・遠隔臨場当日に、スムーズにいくように事前にSwiseを繋げて調整を行った。



【立会状況（現場側）】



【現場側の使用機器】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・机上でリアルタイムに発注者との臨場ができ、業務効率化が図られた。
- ・立会確認等において発注者との日時調整が容易となった。

〈課題〉

- ・通信環境の確保
- ・通信機器と通信アプリの設定等の複雑化への対応



【立会状況（監督側）】



【監督員側の使用機器】

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・移動時間縮減による業務効率化が図られた。
- ・災害発生時にはリアルタイムで現場確認が可能である。
- ・立会確認等において受注者との日時調整が容易となった。

〈課題〉

- ・通信環境の確保
- ・通信機器と通信アプリの設定等の複雑化への対応
- ・高齢技術者にありがちなIT機器の操作慣れ

14.【長崎県】長崎県長崎市 高島港改修工事

〈工事概要〉

工期	R7.5.30~R8.3.5
期間	R7.5.30~R8.3.5
工事内容 (主工種)	防波堤(南)(改良) L=10.5m ・基礎工 1式 ・消波工 L=10.5m
発注者	長崎県
受注者	(株)西海建設

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・なし 「配信」 ・Microsoft Teams	・被覆石材料確認	・監督員側で2画面利用することで、現場状況とともに出来形管理図表等を確認することができ、現場臨場と変わらない状況で実施した



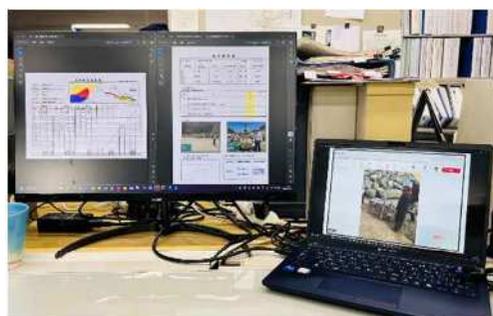
【立会状況（現場側1）】



【立会状況（現場側2）】



【立会状況（発注者側1）】



【立会状況（発注者側2）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・監督員との日程調整が容易となり、段階確認日の日程調整に要する期間が短縮され、工期の遅延が発生しにくい。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場までの移動時間の短縮

15.【宮崎県】宮崎県東臼杵郡美郷町 令和6年度 国道388号 道路改良(法面)工事

〈工事概要〉

工期	R7.7.3~R8.3.24
期間	R7.7~R8.2
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋挿入工 N=178本 ・現場吹付法砕工 A=675m² ・モルタル吹付工 A=439m²
発注者	宮崎県
受注者	吉原建設株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・現場クラウドOne 遠隔臨場	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量吹付法砕工及びモルタル吹付工の材料確認 ・鉄筋挿入工の材料確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像が分かりやすくなるようにスマートフォンは横向き固定で使用した。 ・音声トラブル対策のために事前に通信状況の確認を実施した。 ・現場の音声聞き取りやすいようにBluetoothイヤホンを使用した。



【立会状況（現場側）】



【立会状況（現場側）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・立ち合い時間の見通しが立ち、作業の段取りが立てやすくなった。
- ・立ち合い対応のための余分な待機要員が不要であった。

〈課題〉

- ・スマートフォンでは画面が小さく、細部の確認や説明が分かりづらい場面があり、タブレット等の大きい画面に替える必要がある。
- ・スマートフォンで実施し、手持ち撮影となったため、手振れにより映像が不安定となる場面があった。

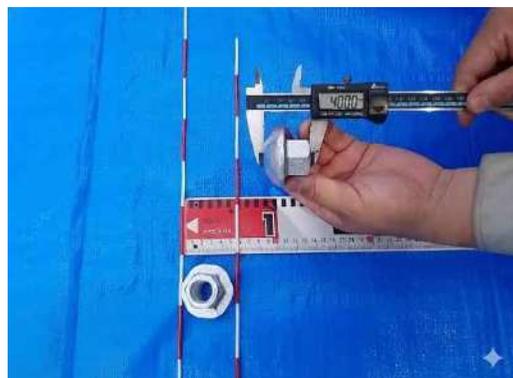
●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場までの移動時間（片道50分）がないため、業務の効率化を図れる。
- ・実施時間を調整しやすい。

〈課題〉

- ・タイムラグや風の音で聞こえづらい時があるため現場内の通信環境の整備が必要。
- ・画面で見れる範囲（視野）が限られているため、受注者側の映し方に工夫が必要。



【立会状況（現場側）】



【スマートフォン、イヤホン、ポケットWi-Fi】

16.【宮崎県】宮崎県宮崎市 令和7年度 田上川 護岸工事

〈工事概要〉

工期	R7.10.1~R8.6.22
期間	R7.12.1~R8.3.31
工事内容 (主工種)	<ul style="list-style-type: none"> ・安定処理工A = 63.0 m² ・ブロック積A = 118.0 m² ・根固ブロックN = 40.0
発注者	宮崎県
受注者	株式会社 金山建設

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン 「配信」 ・ 遠隔臨場 SiteLive	・材料確認 【今後の予定】 ・ブロック積不可視部確認	同一の端末で測量と遠隔臨場で併用し使用していたが、もう1台端末を追加し遠隔臨場の際、測量用の端末画面を撮影し基準高等の確認を出来るように用意した。

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・発注者との時間調整が容易であり、現場での待機時間もないことから、時間のロスがなくなった。

〈課題〉

- ・個数等の確認立会は問題ないが、現場の細部まで確認できるか不安がある。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場までの移動時間（片道30分）が節約できた。

〈課題〉

- ・材料確認は規格・数量のみであるため遠隔臨場でも支障なく確認することができたが、段階確認時においては、カメラの視野が限られるため、必要最小限の確認しかできないことに不安が残る。
- ・立会時に現場全体を見たふとした気づきの機会が減少する不安がある。



【立会状況（現場側）】



【スマートフォン（遠隔臨場用・測量用）】

17.【沖縄県】沖縄県西原町 幸地インター線橋梁整備工事（Aランプ上部工）

〈工事概要〉

工期	R6.5.16~R7.6.30
期間	R6.10.25~R7.3.31
工事内容 (主工種)	橋梁上部工 ・PCホロースラブ製作工 (橋長L=89.5m 幅員W=6.9m) 橋梁付属物工 ・壁高欄工 L=178.3m
発注者	沖縄県土木建築部中部土木事務所
受注者	金秀建設(株)

〈内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配信」 に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・Zoom (クラウド保存) 「配信」 ・Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・免振ゴム支承の製品検査確認 ・コンクリート圧縮強度試験確認 ・床版コンクリート非破壊試験確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・端末機の接続台数を増やすことにより、複数視点を映すことができ同時確認を行った。



【立会状況（現場側）】



【工夫が分かる写真（端末機複数使用）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・製品工場検査は他府県で行うため、宿泊交通費及び往来時間の削減につながった。
- ・端末機の接続台数を増やせば多視点を映すことができ、変位量・荷重計(試験状況・目盛計等)を同時に確認できた。

〈課題〉

- ・端末のスピーカー・マイクを使用しているため音声が聞き取りにくい。
- ・場所によっては通信電波が弱く画像が乱れる。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・時間の効率化で、現場への移動時間や待機時間が削減でき、他の業務(内業)に時間を充てることができる。
- ・移動にかかる費用(交通費、ガソリン代等)の削減に繋がる。
- ・感染症(コロナ・インフルエンザ等)が流行している時期は、感染症の予防にも繋がる。

〈課題〉

- ・通信障害等で、現場によっては、画像や音声が途切れる場合がある。
- ・IT機器等に一定程度知識がないと逆に負担となることが考えられる。
- ・市街地等で遠隔臨場を実施する場合は、一般の歩行者等の映像や音声が映り込む為、録画機能を使用する場合は配慮が必要で、遠隔臨場に適さないケースもあると考える。
- ・初期費用(PC機器・システム導入・ヘッドセット等)が発生する場合がある。等



【立会状況（監督側）】



【工夫が分かる写真（端末機2台使用）】